

# 習近平の中国、トランプの米国

現代中国問題研究家 津上俊哉

- \* 明暗ふたつの経済が同居する現状
- \* 急拡大するインターネットビジネス
- \* 景気刺激で繰り返される巨額投資
- \* 投資バブルの裏側で債務が急増
- \* 先行き予想されるバランスシート不況
- \* 日本のバブル崩壊の流れと同パターンへ
- \* 2030年以降は一段と厳しい局面に
- \* 習近平政権2期目の課題は何か
- \* 資本規制と不動産投機が連関
- \* 経済下降でも国際的影響力は上昇続く



**柴生田** それでは開会いたします。（拍手）  
今日は中国研究家の津上さんに来ていただき  
ました。この倶楽部では2回目でございます。  
旧通商産業省に入省されて北東アジア課長とか、  
在中国大使館に勤務されたこともございます。  
通商産業研究所を経て今は独立して独自の視点  
で中国研究をされておられます。

中国についてはいろいろな情報が飛び交って  
おりますし、少しバブル的になっているという  
見方もございます。その一方で、たいへんな債  
務が積み上がっているということで、どうい  
ふうに読むか、今日は経済的な側面から綿密に  
分析をしていただきます。それから、米中間係  
ということ、北朝鮮を挟んだ今後の展開につ  
いても触れられるということでございます。

それでは津上さん、よろしくお願いいたしま  
す。（拍手）

**津上** 皆様こんにちは。ただいまご紹介にあ  
ずかりました津上でございます。この会には前  
にも一回呼んでいただいたことがあります。ま  
た呼んでいただきましてありがとうございます。  
今ご紹介がありましたとおり、私はもともと  
中国経済屋でございますので、中国経済が今ど  
ういう状況にあるかという話を中心にさせてい  
ただきますが、それと同時に、実は中国って政  
治が普通の国以上に物を言う国なものですから  
この何年か中国の政治をよくわからなければい  
けないなというふうに心がけておりました。そ  
うすると今度はアメリカとの関係を勉強しない  
とよくわからんということになりました、ト